

○ 本校の概要

教育目標：「思考力に富む生徒・実行力のある生徒・情操豊かな生徒」を受け、「これからの社会に貢献する人間性豊かでたくましい人」を育てる
学校規模：生徒数 206人(5月1日現在) 学級数 8学級(通常級1～3年各2学級、特別支援学級1年～3年 2学級)
特色ある教育活動：小規模のよさを生かした落ち着いた環境での学習 小規模のよさを生かした「自覚ある生徒」を育てる学校行事
令和2・3年度 大田区教育委員会教育研究推進校「読解力を向上させる指導の工夫」としての研究成果を生かし、各教科において読解力の向上の視点に立った学習指導
スーパーアクティブスクール校(平成28・29・30年度)としての研究成果を生かし、体力向上の視点に立った健康教育
保護者、地域、学校支援地域本部の協力を得た活動

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include: プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成, プラン2 児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます, プラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます, プラン4 スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, プラン5 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり

プラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4: 月1回以上更新した。	4	生徒、保護者による「地域に開かれた学校」満足度	4	4: 85%以上	A	8	・千東地区スポーツ祭りや雪谷石川町自治会盆踊り大会など様々な場面で地域に溶け込みながら、ボランティア活動に元気に励む姿を見てパワーをもらっている。石中生のエネルギーは地域の方々にとっても大変嬉しいものであるため、今後も継続的な取り組みをお願いしたい。 ・学校支援地域本部、自治会や東工大の学生等多くの方のご協力で生徒は様々な経験ができるのだと思います。 ・地域主催の行事に生徒が参加していることは、とても生徒にとって大切な教育の場であると考えます。これからも積極的に参加させてください。 ・学校支援地域本部の支援で植えられている花々に、いつも心が癒されます。ありがとうございます。 KFC校長プロジェクトは、生徒が楽しみながらボランティアに参加できる素晴らしい取り組みだと思います。次年度の活動が楽しみです。 ・更に知恵と工夫でより良い教育活動ができることを期待している。 ・学校だよりの中で保護者の感想を自由にかく欄があり、そのコメントについて学校側が丁寧に返信されており、その情報を共有できることはとても良いと思います。							
		3: 学期に2～3回更新した。				3: おおむね情報を提供した。				3: 70%以上	B	2	・学校支援地域本部の支援により校内緑化が推進された。また長期休業中の自習教室の講師派遣にも協力いただき、東工大の学生にも協力いただくことができました。 ・地域主催行事の盆踊りのボランティアでは7割の生徒が参加し千東地区スポーツ祭りでは代表生徒が参加し貢献できた。			
		2: 学期1回以上更新した。				2: あまり情報を提供しなかった。				2: 60%以上				C	4	・校内ボランティアとしてKFC校長プロジェクトや地域落ち葉掃きなどが実施でき多くの生徒が参加できた。 ・地域教育連絡協議会委員の方々には貴重なご意見をいただいたり、支援が必要なら生徒に関わっていただくこともあり、本当に感謝している。地域のご協力を可能な範囲で今後もお願いしたい。
		1: 更新しなかった。				1: 情報を提供しなかった。				1: 60%未満						
4: 学期に2～3回行った。	4: 「おおむねできた」と全教員が回答した。															
3: 学期1回以上行った	3: 80%以上が回答した。															
2: 年1回以上行った。	2: 60%以上が回答した。															
	学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	1: 実施しなかった。														
	学校と地域の連携を図るため、学校内外のボランティアに積極的に参加させるよう情報提供や呼びかけをすとともに、防災活動拠点校として実践を踏まえた訓練を実施する。	4: 1: 60%未満であった。														

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す